

74
6280
4



制度通卷四 自稱稱云云

▲官秩位階正從ノ事

○古ノ諸侯ニ五等ノ爵アリテ公侯伯子男ト云又天子諸侯ノ臣卿大夫士ニテニ通シテ一命ヨリ九命ニテノ次第アリテ貴賤尊卑ノ差等シカク後世位階ノ始リナリ初メニスムヨ一命トシテ一命ノ士ト云段々ニ經アガリテ九命ヲ至極トス上公九命ト云是ナリ秦漢以來ハコノ法ナシ周禮ニ詳シ



去五味均平蔵

伊藤長胤 輯



周九命圖

- 九命 上公 作伯
- 八命 作牧
- 七命 賜國
- 六命 賜官
- 五命 賜則
- 四命 受器
- 三命 受位
- 再命 受服
- 一命 受職

○秦ノ時爵二十等ヲ置キ徹侯ヨリ公士ニ至ル土地ヲアタエズ
 只貴賤ノ次第ヲ分ツバカリナリ徹侯ト云ハ徹ハ通也ト訓ヒ
 テ爵位上通於天子ト註アリキ漢武帝ノ諱徹ヲサケテ通
 侯ト云又關内侯ト云ハ侯號アツテ居京畿國邑ナシ漢
 書ニ具サナリ自餘詳ニスルニ及ズ

秦十二爵級圖

- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| 徹侯 | 關内侯 | 大庶長 | 駟車庶長 |
| 大上造 | 少上造 | 右更 | 中更 |
| 左更 | 右庶長 | 左庶長 | 五大夫 |
| 公乘 | 公大夫 | 官大夫 | 大夫 |
| 不更 | 簪裹 | 上造 | 公士 |

○漢ノ時秦ノ二十等ノ爵ヲ用ユレトモ功勞ヲ賞シテ恒ニオ
 カレス百官ノ次第ハ祿秩ノ多少ニヨリテ中二千石ヨリ百石
 ニテ十四等アリ丞相大尉等並ニ諸將軍又諸侯國

仕ル國官ハコノ外ナリ後漢モソノ通りニテ少ク増減アリ史
漢ノ内ニ吏二千石ト云其祿數ヲ呼テ直ニ官ノ称トスルナリ

漢 祿 秩 十 四 等 圖

中二千石	比二千石	比千石	比六百石	比四百石	比三百石	比二百石
月各百斛	百斛	八十斛	六十斛	四十斛	三十斛	二十斛
二千石	千石	六百石	四百石	三百石	二百石	百石
百二十斛	九十斛	七十斛	五十斛	四十斛	三十斛	二十斛

○三國魏ノ時黃鉞大將軍ヨリ以下令史等ノ賤職ニテ
九段ニワリテ第一品第二品ト云第九品ニテ極ニ後
晉宋ノ二代ハ三國ノ制ニ從テヤ、沿革アリ梁ノ時官
秩ノ品前代ノ如クニシテ丞相ヨリ以下典書令ニテ十
八段ニワリテ品ヲ改メテ班ト云其内一班ヲハシントシテ十
八班ヲ極官トス周ノ九命ノゴトクニ班數ノ多キヲ貴トス
丞相大宰等ノ官皆十八班ノ官ナリ陳ノ時モ梁ノ制
ニ從フ然レトモ又通典ニ第一品ト立テ第九品ニテアリ
テ又十八班トストイヘリ十八班ト九品トヲ通用スト見ヘタリ

○北魏ノ時ハ又九品ニ分テ每品ニ從品アリ四品以下正從トモニ又分テ上下階トス凡三十階ナリ唐ノ官品是ヨリ出然レトモ第一品從一品第二品從二品ト云テ正一品正二品ト云コトナシ北齊ノ時ニ至リテ全ク魏ノ制ヲ用ヒテ正一品從一品ト云コト唐以來ノ法コレ本ツク官品ニ正從ヲワカツコト是ニハジレ北周ノ時ハ古ハ姬周ノ法ヲ追テ九等ニワリテ九命ト云毎一命ヲ二階ニ分テ正九命九命ヨリ以下正一命一命ニテ凡十八階アリ正朝官ヲ内命ト云

○諸侯州縣官ヲ外命トス

○隋唐ノ時專北齊ノ制ニヨリテ正一品ヨリ從九品ニテ凡三十階アリ是ヲ流内ト云又視流内流外勳品視流外等ノ品アリ其内隋唐以前ハ品命ノ別アリトイヘトモ百官ノ次第ヲ立タルカリニテ別ニ官ノ名ヲ立ツルコトナシ隋以來ハ別ニ官號ヲ定メテ位階ヲ分ツナリ

通レテコレヲ見ルニ官ニ品ト云コトハ曹魏ノ時ヨリ起ル品ニ從アルコトハ北魏ノ時ハジレリテコノ時ニ三十階ヲ分ツ從ニ正ヲ合セテ正一品從一品ト云コトハ北齊ノ世ヨリハジレリテ隋唐以來ヲ法ヲ承用ユ宋ノ岳珂愧詒錄ニ

云官也。有品自曹魏始。品之有從乃自元魏始。是ナリ。

○散官ノ名隋ノ世ニオコリテ唐ニ備ハ然レトモ隋ノ時散官
云ハ正一品最貴キユヘニ虚ノオカズ九品ノ内何レモ散官
アリテ百官ノ勞ニ酬ユ虚名ノ官職ニテ位階ノ名ニアラズ
○古ハ散官ト云コトナシ隋唐以來コレアリ文官ノ位階ヲ
文散官ト云武官ノ位階ヲ武散官ト云散トハモト散
木散人ノ散ノ如ク物ノ役ニ立サルコトナリ官職ニテハサノ
ニ肝要ノイワガハレキ役目ニテモナキヲ散官ト云韓又

ニハ云投間置散乃分之宜ト即ソノ事ナリ隋書百
官志ニ曰居曹有職務者為執事官無職務者為
散官ト又散實官散號官散號將軍ノ名アリ文獻
通考ニ云散官之名肇見於此曰當時之仕于朝
者不任以事則置之散正如今日宮觀設官之
比ト本ヒナル官職ヲ散官ト云後世遂ニ位階ノ名トナル
○唐ノ世ニイタリテ特進以下將仕郎ニテ二十九階ヲ建テ
是ヲ文散官ト云又驃騎大將軍ヨリ陪戎副尉ニテ
二十九階ヲ建テ是ヲ武散官ト云イツモ官職ノ外ニ

美名ヲ設テ位階ノ尊卑ヲ差別スルナリ愧郊録ニ委
シク論アリ其説ニ前世合於一而唐則析為二ト是ナリ

唐文武散官圖

正一品	從一品
正二品	從二品
正三品	從三品
正四品上下	從四品上下
正五品上下	從五品上下
正六品上下	從六品上下
正七品上下	從七品上下
正八品上下	從八品上下
正九品上下	從九品上下

右ノ内モ文官ニ特進開府等ノ名アリ武官ニ將軍校尉等ノ名アリ事イタツカワレキユヘニコレヲ舉ケス唐官
鈔ニ之ヲ詳ニス

本朝之制親王稱品凡四階諸王諸臣稱位凡三十階官曰任位曰叙唯正位虛而不授不別置散官名

- 今義解云品位也親王稱品者別於諸王
- 推古天皇時ニシテ大德冠已下ノ冠位十二階ヲ行フ
- 孝德天皇時ニ大織冠已下七色十三階ノ冠位ニ改メラル

その後又大織已下十九階ニ改メラル

○天智天皇ノ時ニ増シテ大織小織ヨリ以下大建小建ニテ二十六階ヲ定メラル 天武天皇ノ時ニイタリテ爵位六階ヲ改メ定メテ明大一ヨリ淨廣四ニテ十二階ヲ諸王ノ位トス 正大一ヨリ進廣四ニテ十八階ヲ諸臣ノ位トス

○文武天皇ノ大寶元年ニ明冠四階ヲ親王ノ位トシテ一品ヨリ四品ニ至ル淨冠十四階ヲ諸王ノ位トシテ正一位ヨリ從五位ニイタル直冠ヨリ進冠ニテ三十階ヲ諸臣ノ位トシテ正一位ヨリ少初位下ニ至ルスベテ四十八階ナリ是ヨリ前ハカハ

位階ニ隨テ冠ヲ賜フコト時ニ罷ラレテ位記ヲ給ヒ又服制ヲ定メラル又外位二十階アリテ直冠ヨリ進冠ニテ六段ヲ正從上下ニ分テ外正五位ヨリ外少初位ニイタル其後令マヲ定メラル時ニイタリテハコノ制ニ從ヒ親王四品諸王諸臣正階上ニアグル制ノ如シ冠位ノコトニタミエズ右ノ事シゲニハコノ處ニアラハサズ官制沿革ニ之ヲ詳ニス

○又大寶年中ニ今ヲ定タラ官位令ニス所親王一品ヨリ四品ニテ凡テ四階諸王諸臣正一位ヨリ少初位下ニテ凡テ三十階コレヨリ以後歷朝承用ヒラレテ沿革ナシ

本朝親王四階圖

諸	正一位	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位
---	-----	-----	-----	-----	-----	-----

一品
二品
三品
四品

王 諸 臣 三 十 階

王	正四位上	從四位上	正四位下	從四位下
諸	正五位上	從五位上	正五位下	從五位下
臣	正六位上	從六位上	正六位下	從六位下
三	正七位上	從七位上	正七位下	從七位下
十	正八位上	從八位上	正八位下	從八位下

○漢書百官公卿表云吏負自佐史至丞相十三萬二百八十五人

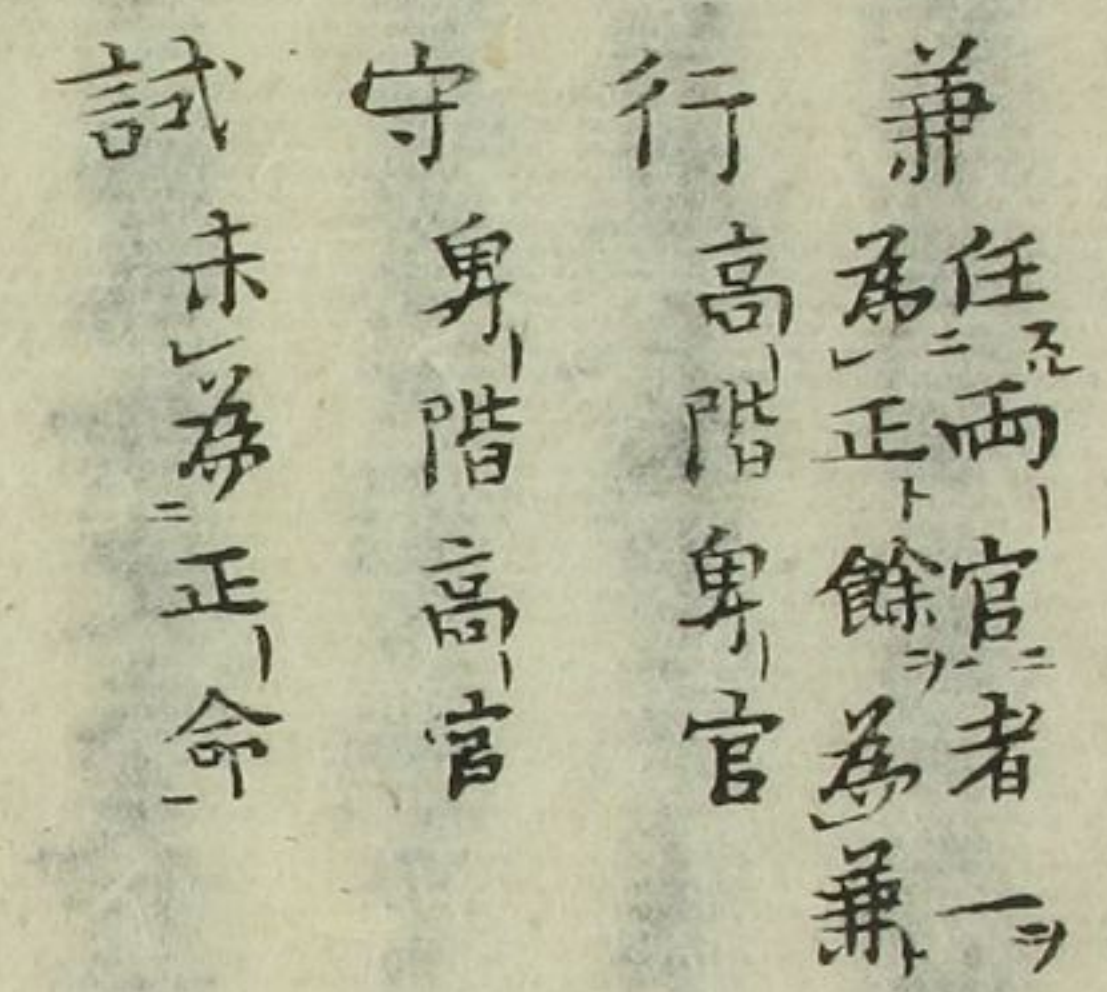
○圖書編三卷云臣博考前古若光武中興監前世官冗之弊裁省天下四百州縣官止七千五百餘負額數極少者也唐制文武官一萬八千餘負額數極多者也我朝自成化五年武職已逾八萬台文職計之蓋已逾十萬矣是職負極冗未有甚於此時者也

兼行守試ノ事

○官ニ兼官アルトヒサレ論語ニ管仲官事不攝トイフ攝ハ兼官ノコトナリ又行ト云守ト云コト漢ノ時分ヨリモ三五ノ漢ノ韓安國為御史大夫行尚書事後漢ノ周澤行司徒事ト通典ニ是ヲ引テ例トス又漢ニ守令守郡アリ謂秩未當得而越授之故曰守ト事物紀原ニ是ヲ舉テ猶今ノ權ト云○唐ノ則天武后ノ時ニ人情ヲ收メシメシメ大ニ試官ヲ置天下ノ舉人ヲ官セラル試官コノ時ニオコレリ通典云試者未為正命凡正官皆稱行守其階高而官卑者稱行

階卑而官高者称守官階同者並無行守字上事物
紀原ニオモヘラク是ヲ試ト云ハ書經ノ明試以功ト云ク意ニ上リ

兼行守試圖



其後中宗ノ神龍ノ初ヨリ負外檢校試知攝判等ノ名アリ
玄宗開元ノ時ニ及シテコレヲ刊定セシ然レモ行守ノ事ハ後ニ
モカハルコトナレ

本朝之制 凡任兩官以上者一為正餘皆為兼○凡任
内外文武官本位有高下者若職事卑為行高為守
○本朝官位兼行守ノコト又唐ノ法ニ本ツク位階卑シテ官高キ
トキハ守トカク從三位守大納言トイフガ如シ大納言相當從二
位ナリ位階高シテ官卑キ時ハ行トカク正二位行大納言ト云ガ
如シコノニツハ位ト官ト高下アリ共ニ位ヲ先ヘ書テ官ヲアトニシ
スモシ官位相當ノ時ハ行守ノ字ヲ用ヒス大納言從二位ト必官
ヲ先ヘシルスナリ諸官何レモ同キコトナリ今並ニ拾芥抄ナトニ詳ナリ
○宋ノ時モ又行守試別アリ又獻通考云凡除職事官以寄祿

官品之高下為準高一品以上為行下一品為守下二品已下為
 試品同者否又領視ト云コトアリ又云宣和以後官高而仍舊職
 者謂之領官卑而職高者謂之視ト何レモ行守ト同キコトナリ
 ○明ノ時行守ノ事ナレ官位ヲ署スルニ必位ヲ先ニ書テ官ヲ後ニ
 注スルナリ夕翰林院ノ官バカリ官ヲ先ニ書テ位ヲ後ニ注スルナリ
 四書大全ノ首連名ノ所ニテミルヘ但シ兼官ハ昔ノ通りナリ弇州
 史料云文臣署官俱書散階於職銜之上唯翰林書於下
 或云始自文皇時不然也觀遼金史如元時亦然

▲功臣號並ニ賜ノ事

○功臣號ト云トハモト唐ノ徳宗ノ時ヨリ起ルツノ時朱泚トイフモ
 ノ亂ヲナシテ長安ヘイル帝コレヲ避ケテ奉天ト云所ヘ遷幸ス
 其時多ニ百官ノ乘輿ニ供奉スルモノヲ亂シツル後ニ奉天定
 難功臣ト云名ヲ賜フコレヲ功臣號ト云コレヨリ後功アルモノハ
 コトクク賜ヘリ遂ニ例トナル

○宋モ唐ノ制ニヨリテ功臣號アリ宰相樞密使ニ初テ拜セラル
 ニコレヲ賜フ參知政事樞密副使ニ加恩ノ時ニ是ヲ賜フ刺
 史已上勳高キモノニモ時ニヨリテ賜ル宰相初テ加フルニ六字

ソノ餘ノ官ハ並ニ四字段カニ重子加フルコトアリ或ハ二字或ハ四字多キモノハ十餘字ニ至ル何レモ二字ツ義ヲ協ヘテ新ニ作ルモアリ舊號ニヨルモアリ美稱ヲ取ルコトナリ徐度却掃編沈存中^カ筆談ニ詳ナリ

○明ノ初ノ太祖ノ洪武十三年ニ功臣封號ノ名ヲ定メラレテ開國輔運推誠宣力武臣トス又二十六年ニ開國輔運守正文臣ノ類ノ如キ特ニ聖旨ヲ奉ズルニアラザレハアタヘズ成祖ノ時ニ功臣封號ヲ定メラル四種アリ

明 奉天靖難推誠宣力武臣

奉天翊運推誠宣力

奉天翊衛宣力武臣

欽承祖業推誠奉義

功臣號四種圖

右ノ通り人ニヨリテアタヘラルスベテ唐宋ノ時ニハ人ニヨリテ其文字同シカラス或ハアラタニ製セラル明ニハカクノ如ク三四通りノ封號ヲ定メ置テ此ヲアタヘラルナリ會典

吏部ノ内驗封司ノ職ニ詳ナリ

○又賜ト云コトアリ劍履上殿入朝不趨贊拜不名金魚袋緋魚袋ト五等アリコレハ日本ニテ貴官ノ衣服器物ノ類ニ何ヲ御ユルヒト云カゴトシ又朝廷ニテ牛車輦車隨身兵仗ナト宣旨アルガコトシ凡テ中國後世ハ禮文盛ニシテ實用スクナシユニサシクノ虚名繁文ヲコシラヘテ賞罰ヲ寓スゴト多シ官階勲號ノ繁瑣ナルゴトコレニテレベシ

▲官職四等四分ノ事

○官職四等ニハカツコト古ノ法制見アタラズ唐ノ時ニ大少ノ諸官上官ヨリ下官ニテ幾人アリテモ是ヲ四段ニワカツタトヘハ大理寺ナシハ大卿ヲ長官トシ少卿並ニ正ヲ通判官トシ丞ヲ判官トシ府史ヲ主典トスルカゴトシ他ノ官司イツレモ同シキコトナリフノワケ唐律ニ詳ナリ本同職ノ人過失アルトキニコノ段々ヲ以テ其過ノ輕重ヲ分ツタナリ文ヲ下ニアグ

○唐律第五卷名例律云諸同職犯公坐者長官為

一等通判官為一等判官為一等主典為一等各
以所由為首○疏議曰同職者謂連署之官公坐
謂無私曲假如大理寺斷事有違即大卿是長官
少卿及正是通判官丞是判官府史是主典是為
四等各以所由為首者若主典檢請有失即主典
為首丞為第二從少卿二正為第三從大卿為第
四從即主簿錄事亦為第四從若由丞判斷有失
以丞為首少卿二正為第二從大卿為第三從主
典為第四從主簿錄事當同第四從

○唐律又云即無四等官者止準見官為準○疏議
曰即無四等官者為關成之類無通判官關丞即至
關令并主典唯有三等十是關所役人令丞主典
ニテカミゼウサクワニバカリアリテスケナシ

唐官四等圖

長官
通判官
判官
主典

本朝之制 凡官四分有長官有次官有判官有主典

○本朝ノ制全ク唐ニ從ヒテ太政官已下省臺職察府國郡

ニイタルニテ何モ四分配當アリ文字ハカハレトモカニスケセウサシ

ワント讀ム局ニヨリテハ直ニ長官次官判官主典ヲ以テ官ノ

稱トス鑄錢司勘解由使ノゴトキ是ナリ源順ノ和名鈔ニ

スル所ニベ考フベシ又官ニヨリテタ、ニ分テ四分ナキアリ諸司諸署

並ニ内膳司鎮守府ニタ、カセウサクワリテスケチシ是モ唐ノ制ニ

本

長官

次官

判官

主典

伯神祇

副

祐

史

圖	當	配	分	四	朝
長官 司使	首署	正諸司	守國	督衛府	尹臺
次官			介	佐	弼
判官	佑	佑	掾	尉	忠
主典	令史	令史	目	志	疏
					屬
					進
					亮
					助
					頭諸寮
					大夫職
					卿八省
					輔
					丞
					錄

律例通考 卷四

十六

○明ノ制又カクノ如シ毎官四等ニ分チテ長官佐貳官首領
 官吏典ト云 本朝ノカミスケセウサクワニナリ大明律官
 司出入人罪條ニ云若斷罪失於入者各減三等失
 於出者各減五等並以吏典為首首領官減吏典
 一等佐貳官減首領官一等長官減佐貳官一等
 科罪ト是ナリコノワケ唐律ニノスルト同キコトナリアハセ
 考フベシ

▲詔勅制誥並ニ位記等ノ事

○古ハ三代ノ時ハ天子ノニコトヲ通シテ命トイフ書經ニ
 スル說命畢命ノ如キ是ナリ又誓アリ誥アリ同ク王ニ
 リ共ニ書經ニ見ル

○秦ノ始自皇天下ヲ一統スルニイタリテ命ヲ改メテ制ト云令
 ヲ改メテ詔ト云是ヨリ詔ノ名オコル漢ヨリコメカク後世ニ至
 ルニテ其通リナリ命ト令トノ差別ハ大ヲ命ト云小ヲ令ト云
 文體明辨ニ字書ヲ引テカク云リ秦ノ時制詔ト改メテ
 モコレニ準スヘシ

○漢以來又策書アリソノ時命令ノ體四ツアリソノ一ヲ策書ト云木簡ニ篆字ニテコレヲ書ス諸侯王ニ命シニ公ヲ誅シ諡シ或ハニ公ヲ免セシニコレヲ用ユコレヲ策免ト云唐ニ至リテ王言ノ體六ツ其三ヲ冊ト云コレヨリ始テ冊ノ字ニ書ク天地ヲ祀リ皇后太子ヲ立ルニ之ヲ用ユソノ目凡十一品アリ冊字カシヅクト訓ス祝冊玉冊立冊封冊哀冊贈冊謚冊贈謚冊祭冊賜冊免冊ナリソノワケ又文體明辨具アリ

○三國魏晉ノ時ヨリ又制詔勅ノ差別アリ又聖旨ト稱ス格古要論王佐曰魏晉天子稱聖旨又曰大事則有

制可宣布則有詔書除授則有勅命非古制也ト

○唐ノ時詔冊制勅ノ別アリ詔冊制ノ三ツハ上ニ之ヲ詳ニス勅ハ唐ノ時大賞罰大除授ニコレヲ用ユ勅ハ漢ノ時戒書ト云即戒勅ナリ然レトモ勅ノ名ニハズ其後勅ノ名オコリテ唐ニ至リテ勅旨勅書勅牒等ノ差アリテ勅ノ用モトモヒロシ何レモ事ノ品ニヨリテ其差別アリ逐一ニ具シガタシソノ内大事ニ詔ヲ用ユ即位改元詔ノ如キ是ナリ冊制勅ハ封拜除授ニ是ヲ用ユ勅ハ又諸事ニ通スルコトナリ

○勅ノ名唐已前ヨリコレアリトイヘトモ唐ニイタリテツク事ダ

三ノ事物紀原ニ云漢初定儀則四品其四曰敕令勅
 是也自此帝王命令始稱勅至唐顯慶中始云不
 經鳳閣鸞臺不得稱勅勅之名遂定於此云々鳳
 閣鸞臺中書省門下省ノコトナリ勅ハ必コノ二省ヲ經
 ルコトナリ又勅ニ黃勅ト云コトアリ是モ唐ヨリ始ル高宗ノ
 元三年ニ詔アリテ制勅白紙ハ蟲蛀ニハ黃紙ヲ用ユ是ニ
 ヲリテ黃勅ト云宋モ是ニヨリ又黃麻トモイフ勅書ヲ黃麻
 紙ニ書クニヨリテナリ東觀漢紀ニ云蔡倫作紙用故麻名
 麻紙事物紀原ニヨリ引ク麻ニテコレハタル紙ナリ

○三國以來ノ詔勅ニハフノ程端カタラス門下ノ二字アリ其ト
 キ門下省ヨリ詔命ヲ出シタルコトナリ通鑑梁武帝紀ニ
 魏節閔帝自作赦文直言門下胡三省ノ註ニ云魏晉
 以來出命皆由門下省故其程端必曰勅門下ト是ナリ
 ○通典選舉部云梁制云々其別奏詔除者即宣付
 詔局詔局草奏聞勅可黃紙寫出門下門下答詔
 請付外施行又書可付選司行名得官者不必皆
 行名到但聞詔出明日即入謝後詣尚書上省拜
 受若拜王公則臨軒ト唐宋ノ式又此ニヨリ本ヅク

○法苑珠林五十一卷隋ノ時ノ勅アリ門下云々主者施行
 仁壽元年六月十三日内史令豫章王臣曠宣トア
 リ隋ノ法前代ニヨリテカクノ如ク門下ノ二字アルコトナリ内
 史令ハ唐ノ中書令ナリ宣内史令ヨリ宣フレトモ舊例ニヨ
 リテ門下トシテ見ヘタリ唐ノ法モ又是ニヨル

○唐ノ詔勅ノ首ニ必門下ト云隋ノ如シ陸宣公集等ノ諸
 書ニ具サナリ處ニヨリテ東臺トアリ又臺トアルコトハ高
 宗ノ時門下ヲ改メテ東臺トシ武后ノ時改メテ臺トシ
 セラルニヨリテナリ

○又唐ノ世勅ニ黃麻白麻ノ別アリ是ヲ内制外制ト云唐ノ
 ハシメテ文書詔令皆中書舍人長ヲ掌ル太宗ノ時分ニ時
 ノ名儒ヲシテ制ヲ草セルモ玄宗ノ世翰林學士ヲ置テ專
 ラ内命ヲ掌ラシム白紙ニコレヲ書スニヨリテ是ヲ白麻ト云文
 獻通考ニ云開元二十六年改翰林供奉為學士專掌
 内命凡拜免將相誥令征伐皆用白麻ト是ナリ然ハ
 中書ヨリ出ル勅ヲ黃麻ト云翰林ヨリ出ル勅ヲ白麻ト云通
 考學士ノ下ニ又云故事中書以黃白二麻為綸命輕
 重ト云々又云白麻皆在此院ト然ハ黃白トモニモトハ中

書ヨリ出テ、其後白麻モハラ翰林ヨリ出ルト見ヘタリ是ニヨ
リテ翰林ヨリイヅルヲ内制ト云中書ヨリ出ラ外制ト云是
ヲ合セテ兩制トイフ

○唐詔勅之式

唐ノ告身ノシタノ様六典通典等ニモミヘズ宋ノ時ニイタ
リ兵亂以後亡失レテ傳ハラズ葉夢得建康ニテ唐ノ
告身ヲ見ルコトヲ得其式ヲ避暑錄話ニノセリ今ソノ文
ニヨリテ式ヲアラハヌコト左ノ如シ
趙州刺史李暹

右可汾州刺史

門下

王者施行

開元二十年七月六日下

銀青光祿大夫守兵部尚書兼中書令集賢殿學士蕭嵩宣

中書侍郎關

知制誥王丘

奉行

右ハ中書省ノ官人ナリ何レモ姓ヲ記ス

侍中兼吏部尚書弘文館學士臣光庭

黃門侍郎

給事中

等言

制書如右請奉

制付外施行

謹言

年月日

制可

右八門下省ノ官人ナリ何モ姓ヲ記サズ

尚書左丞相 闕

開府儀同三司行尚書右丞相 璟

侍中

杜光庭ナリ吏部尚書ヲ兼シ
ユヘニ再見ユ名ヲシルサズ

吏部侍郎

林甫

服告某官奉被

制書如右符到奉行

年月日下

右ハ尚書省ノ官人ナリ何モ姓ヲ記サズ

右避暑録話ニノスル所カクノ如シ其時三省ノ官人次第

シテカクノ如クニ位署姓名ヲ記スコトナリ唐ノ時ニ三省ヲ

並ヘ置シテ中書ハ直ニ天子ノ旨ヲ受ク門下ハ詔勅ヲギ

ニシテ尚書省ハ出納ヲ掌リテ天下ノ事ヲウケ天子ノ

命令ヲ天下ヘ施行フユニヨリテ詔勅ノ始ニ中書令

以下宣奉行トシテ門下省是ヲ受取テ侍中黃門侍
 郎給事中ノ官人連署シ制書如此云々ト書ス此次ニ
 年號月日アリテ畫可ヲカウフリテ是ヲ尚書省ハツタ
 ス尚書省ノ官人左右丞相並ニ吏部尚書侍郎等連
 名シテ勅ヲ受ル人ニ告ヨシラレシ又年號月日ヲシテ
 リ武官兵部ノ官連署ス畢竟中書省コレヲイダシ
 テ門下ギンミヲトゲ尚書受取テ其人ニカワス三省ノ官
 人トモニアツカルコトナリ

本朝之制有詔書有勅書有位記有宣東宮曰今旨

詔書式

詔旨云々咸聞

年月御畫日

中務卿位臣姓名宣

中務大輔位臣姓名奉

中務少輔位臣姓名行

太政大臣位臣姓 己下外記ノ
 シルストコロナリ

左大臣位臣姓

右大臣位臣姓

大納言位臣姓名

大納言位臣姓名

大納言位臣姓名

大納言位臣姓名等言 令ノ時大納言四人ナリ俱ニ連名

詔書如右請奉

詔付外施行謹言

年月日

御書

古今ノ所詔書ノ式カクノ如シ其内大事ヲ以テ

ノ使ニ宣フニ詔曰トイフ上ニ明神御宇日本天皇トイフ

字ヲ加フルナリ朝廷ノ大事立坊立后ノ如キコトニハ明神

御宇大八州天皇トイフ字ヲ加フルナリ中事任大臣以

上ノ事ニハ天皇詔曰ト書ス小事五位ヲ授ル以上ニハタ

詔旨トバカリ書ス其餘ノコトハ同キコトナリ何レモ令ニ具サナリ

○凡詔書内記御所ニ於テ作り訖テコレヲ中務卿ニ給中

務卿是ヲ大輔ニ宣ス大輔奉シテ是ヲ少輔ニ付シ大政官

ニ送ラシム故ニ宣奉行ト云ナリモシ中務卿カクルトキ大輔

ノ下ニ宣ト書シ少輔ノ下ニ奉行ヲアハセ書ス大輔モカクルトキ

ハ少輔ノ下ニ宣奉行ノ三字トモニ是ヲ書ス少輔モアラザレハ
 丞録ニイタリテモ又如此唐ノ法ニ準ス中書ノ宣奉行是ナル
 ○又詔書ハ内記草シオハリテ中務省ヘワタスソレニ太政大
 臣ト云ヨリ以下ハ外記ノ官人中務省ヨリキタル詔書ノ後其
 テ注記ス故ニ外記ノ職掌ニ勘テ詔奏ト云

○又詔書ハスベテニ通リ寫シカユナリ先ツ内記ノ草ス詔書
 御畫日ノアルヲ中務省ニトシテ案トス是一通ナリ中務省
 ニテ別ニウツシカヘ即署シテ太政官ヘ送ル大納言奏聞レ天
 皇畫可オハル是ヲトシテ案トス是ニ一通ナリ是ハ何レモ

官府ノヒカヘナリ太政官又更ニ一通ヲ寫シ施行ス是ニ
 通リ沈存中夢溪筆談云唐故事中書舍人職掌
 詔詔皆寫四本一本為底一本為宣此宣謂行出
 耳未以名書也晚唐樞密使自禁中受旨出付中
 書即謂之宣中書承受録之於籍謂之宣底今史
 館中尚有故宣底二卷如今之聖語簿也ト底ハ文
 書ノヒカエナリ唐ノ宣底トイフ昂詔勅口宣ノ案ナリ 本朝
 コレニヨリテ損益アリ

○内記作詔畢或自内秉仰内記令納管令或大臣奉勅令參議以

上若内侍進御所御畫日訖置殿上机上 掃部寮 頭立漆
 案而退下須更參議以上一人升殿喚内豎名中
 務省稱唯出出 葉門 日喚輔以上一人入自左掖門
 就版門内東第二間若 有雨水通 自南廂立 承明 効此勅曰參來稱唯
 升自南階立簀子敷前 當御勅曰書賜礼稱唯進取
 勅書管退出門 用同既而御畫日者留為案別寫一
 通印署送太政官大納言覆奏畫可詔書畫可論 奏等畫聞字
 訖留為案更寫一通施行頃年所行 更不寫一通 畫可字者 附辨宜施行
 外記 畢即收

右ハ内裏式下卷ニテリ式凡三卷弘仁十二年正月卅日右
 大臣冬嗣公奉勅撰天長十年二月十九日右大臣清
 原夏野公奉勅重校增損令ニ載テ通リテ益詳テ其
 内ヨリ時々ヨリ詔勅タニ通ウツスコト見ヘタリ

○勅旨式

勅旨云々

年月日

中務卿位姓名

大輔位姓名

行

奉 勅旨如右

符到奉

行

年月日

史位姓名

大辨位姓名

中辨位姓名

少辨位姓名

詔ト勅ト施行ノ法カハルコトナシ其内臨時ノ大事ヲ詔ト
云尋常ノ小事ヲ勅トス同ク是綸言ナリ

○勅ト詔ト同キコトニテニ通寫シカユナリ最初ニ勅ヲ受ル人

中務省へ宣送ス中務奏聞シオハリテ式ノ如ク署シテ太
紙ヲ留メテ案トシ別ニ一通ヲ寫シテ太政官へ送ル少辨以
上式ノ如ク連署シテ留メテ案トシ又別ニ一通ヲ寫シテ
施行ス奉勅トシトス文字ヨリ以下ハ辨官ノ史ノ注ス所ナ
リサテ詔ニ中務省ノ官人ニ入トモニ中務ノ字ヲ上ニシテ勅
トシハ始メバカリニ中務ヲシテアトハ重子テシサズ詔ト勅ト
ノ差別ナリ右ノワケ何レモ令ニ詳ナリ

○皇太子ニ令旨ト云其法又上ノ如シ其内令旨ヲ春宮坊
へ宣送シ春宮坊ニテ啓聞シオハリテ畫日ヲ留メテ案トシ

別ニ一通ヲ男ニテ施行ス詔勅又ヤ署ナリニ名モ長ニ準ス

○勅授位記式

中務省

本位姓名 年若干

今授某位

年月日

中務卿位姓名

太政大臣位姓名 大納言加名

式部卿位姓名

右古五位以上ニ位階ヲ賜フニシナリヨラ勅授位記ト

云見在ノ長官一人署ス中務卿太政大臣式部卿長官モシカシトキハ大臣ニ大納言中務式部ニ大輔或ハ少輔式ノ如クニ署ス兵部モ亦同シ武官兵部卿サヅクルナレシ

○奏授位記式

太政官謹奏

本位姓名年若干某國某郡人今授某位

年月日

太政大臣位姓名 大納言加名

式部卿位姓名

右ハ六位以下ニ位階ヲ授ルニシテハ太政官奏聞シテ勅ニヨ
ラザルヨリテ是ヲ奏授位記ト云フ故中務省ノ官人アツカフズ

○判授位記式

太政官

本位姓名年若干某國某郡人今授某位

年月日

大納言位姓

式部卿位姓 少輔以上加名

右外ハ位並ニ内外初位ニ位階ヲサツクルトキナリ太政官ノ判

ニテ奏聞ニオバザルヨリテ是ヲ判授位記ト云フ故謹奏ト云フ

右詔勅位記ノ式令並ニ義解ニノスル所カクノ如シ其詳

ナリコトハ本書ニツイテ考フヘシ但詔勅宣命等ノ名ハ唐

ニモトヨリコナリ位記ト云フコトハイニダ見アタラズ本朝

ニテ始テ命セラレト見ヘタリ禁秘鈔云凡詔書勅書勅

符已上書詔書勅書復奏已上書論奏諸衛擬舍

人奏書聞字皇太子令畫日並ニ畫可ノワケ是ニテ

シルシ又云勅書注ニ書黃紙自唐太宗貞觀始之

黃勅ノコトモ唐ノ法ニヨリテハジニト見ヘタリ

○宋ノ時詔勅ノ制ツノ名專ラ唐ニヨリツノ内詔ト云コトオモ詔
ハモト三代ノ時上下ニ通用シテコレヲ稱スルニ仲虺之詔ノ如キ
ハ下ヨリ上ヘ告ニ用ユ洛詔大詔ノ如キハ上ヨリ下ヘ告ニ用ユ字書
ニ詔者告也トイフ秦詔制ヲハジテヨリコノカタ詔ノ名キコ
ヘズ漢武帝トキ暫クアリトイヘトモ官ニ命スルコトナシ宋ニ至
リテ又コレヲ用ヒ制詔ト並稱ス知制詔ト云ハ制詔ヲ書ク
コトヲ掌ル官ナリ文體明辨ニ云唐世王言亦不稱詔至
宋始以命庶官而追贈大臣貶謫有罪贈封其祖
父妻室凡不宣于庭者皆用之ト是ナリ又明辨制

條下ニ云其詞宣讀于庭ト然ハ宋ノトキ同キ制書ノ内ニ
庭ニ讀ヲ制ト云讀サレテ詔トイフニ是テ制ト詔ト別レベシ
○宋詔勅之式

宋朝告身式王氏法書苑ノ内ニ是ヲノス唐ノ法ニ準
シテ少カリアリ左ニアラス
門下朕惟一一一中大夫同知樞密院一一一一
范純仁一一一一可特授太中大夫一一一一
一一一王者施行

五日

侍中 闕

尚書左僕射兼門下侍郎臣大防

給事 中 臣 臨等言

制書如右請奉

制付外施行謹言

元祐三年四月五日

制可

四月六日辰時權都事獲安靜受

左司郎中黃廉付吏部

尚書令 闕

尚書左僕射 大防 未謝

尚書右僕射 純仁 未謝

尚書左丞 摯

尚書右丞 存 式假

吏部尚書 頌

吏部侍郎 覺

告太中大夫 范純仁奉被

制書如右符到奉行

主事

丁玠

郎中

次雲

令史

魏宗式

書令史

闕

元祐三年四月六日下

右宋朝詔勅式全ク唐ヨリテ少カリアリ中書省ノ
官人宣奉行ノコト見ヘズ其内上ニアクル唐ノ勅ニ令僕射
ノ名ニヘズ是ハ唐ノ時ニ尚書令ヲ置カレズノ上開元元年
ニ左右僕射ヲ改メテ左右丞相トセラルニヨリテカクノ如ク宋

○元祐ノ時ニ尚書令僕射アルニヨリテ上ノ通りナリ 本朝
三公連名同例ナリ

○元ノ時中書尚書アリテ門下ヲオカズ至元七年三省ヲ置
シコトヲ議ス高鳴ガ上言ニヨリテツノ事ヤト見ヘタリ八年尚
書ヲ併セテ中書ニ入ル故ニ中書ヨリ詔書ヲ六部郡國下
スツノ詔令ハ八府宰相典蒙古翰林院官同譯勇ニテ
之ヲ潤色スト何レモ續通考ニ詳ナリソレニハ詔首ニ門下ノ
字ナシ明ノ楊升庵集ニ云晉詔首称紀綱唐詔首称門
下元詔首称指揮惟本朝詔首直入事

○明ノ制又詔アリ誥命アリ勅命アリ冊アリ凡テ五品以上ニ命スハ勅ト云以下ハ誥ト云郊祀立后立儲等ハ冊アリ文體明辨大明會典等ニ詳ナリ會典兵部ノ下ニ云洪武中職掌所定一品至五品曰誥命以下曰勅命又工部ノ下ニ云誥織用五色紵絲其前織又曰奉天誥命勅織用純白綾其前織文曰奉天勅命俱用升降龍文左右盤繞後俱織某年月造帶俱用五色

○文體明辨云今制命官不用制誥至三載考績則

用誥以褒美五品以上官而贈封其親及賜大臣勲階贈諡皆用之六品以下則用勅命云々

○又云今制郊祀立后立儲封王封妃亦皆用冊而金玉銀銅之制各有等差蓋自古迄今王言之所不可闕者也ト凡テ立儲トハ儲君ヲ立ラズ立太子ノコトナリ 本朝ニコレヲ立坊ト云

○明ノ時三省ノ官ナキニ唐宋ノ誥勅トハ體式同カラズ首ニ奉天承運皇帝若曰ト書テ直ニ綸言ヲ書キ載テ百官ノ連署並ニ畫可畫日等ノ事ナシ與ニ年號月日

ヲ書シテ首末ニ廣運之寶ト云四大字ノ御寶ヲ押スナリ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '唐ノ時官位ヲ授ニ冊授制授勅授旨授判補ノ五等アリ冊授ト云ハ竹冊ニ書ス諸王並ニ二品以上ノ人ニ是ヲサズ制授ハ五品以上勅授ハ六品以下コノ三等ハ何モ宰相ノ所行ナリ旨授ハ六品以下文武官尚書省ヨリコヲ授ク視品流外官ハ判補ナリ詳ニ通典ニ具レリ又ラ下ニノス']

▲冊授勅授等ノ事

○唐ノ時官位ヲ授ニ冊授制授勅授旨授判補ノ五等アリ冊授ト云ハ竹冊ニ書ス諸王並ニ二品以上ノ人ニ是ヲサズ制授ハ五品以上勅授ハ六品以下コノ三等ハ何モ宰相ノ所行ナリ旨授ハ六品以下文武官尚書省ヨリコヲ授ク視品流外官ハ判補ナリ詳ニ通典ニ具レリ又ラ下ニノス

○通典云凡諸王及職事正三品以上若文武散官二品以上及都督都護上州刺史之在京師者冊授冊用竹簡五品以上皆制授六品以下守五品書用漆

以上及視五品以上皆勅授凡制勅授及冊拜皆
宰司進擬自六品以下旨授其視品及流外官皆
判補之凡旨授官悉由于尚書文官屬吏部武官
屬兵部謂之銓選唯外郎御史及供奉之官則否

唐授官五等圖

冊授
制授
勅授
旨授
判補

本朝之制除官曰任叙位曰授各有三等

○唐ノ制ハ官職位階ニ通用シテ上ノ五等ノ別アリ 本朝ノ
法ハ官ト位ト各別ニシテ官ニ除スラ任トステ勅任奏任判
任ノ別アリテ其下ヲ判補ト云位ヲ叙スラ授ト云テ勅授奏
授判授三等ノ別アリ是モ唐ノ制ニヨリテ損益アリ

○勅任ト云ハ天皇ノ直ニ命シタマヒテ官ニ任スラヌ大納言以
上左右大辨等ノ如キ是ナリ奏任ト云ハ大臣ノ奏聞ニヨリテ
任ス官内外諸司ノ主典以上等ナリ判任ト云ハ上へ奏スニ
及バズ太政官ノ判断ヲ任ス官郡ノ主政等ナリ判補ト云

式部省ノ判断ニ補ス職舎人史生等ノ如キ是ナリ
○位ニ勅授トス内外五位以上奏授トス内八位外七位
已上判授トス内外初位以上勅奏判ノワケ任官ノ例ト
同キコトナリ令ノ文ヲ考フヘシ

本	勅任
朝	奏任
授	判任
任	判補
三	勅授

圖 判授 右授位三等

○元ノ時一品ヨリ五品ニ至ルヲ宣授トス六品ヨリ九品ニ至ルヲ
勅授トス勅授ハ中書署^ス_ス宣授^スハ制ヲ以テコレヲ命ズ

○明ノ制又唐ノ制ヨレリ四品以上並ニ在京堂上五品在
外方面官ハ何レモ職名ヲ具シ申シ上ケテ上裁ヲ取ル唐ノ
制ノ勅授ナリコレ外五品以下在外四品方面ニアラザレモ
ツソノ職任ヲ定メツノ上ニ奏聞ス唐ノ旨授ナリツノ事丘
氏ノ衍義補ニ具サナリ

○又大明會典ヲ按ス。洪武二十六年ニ誥勅ノ等級ヲ
 定メラル。一品ヨリ五品ニテハ授ルニ誥命ヲ以シ朱印ニ制誥
 之寶ヲ用ユナリ。六品ヨリ九品ニテハ授ルニ勅命ヲ以シ朱印
 ニ勅命之寶ヲ用ヒラル。婦人ハ何モ夫ノ品級ニシタカフ又
 文簿ヲ作り誥勅ト各字號ヲ編テ合モン。トシニ夕寶ヲ
 用ニテ是ラシシ。其文簿ハ内府ニオサムナリ。

制度通卷四畢

